

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

| | |
|-----------|--|
| 会議名 | 第2回高松市伝統的ものづくり振興審議会 |
| 開催日時 | 平成27年7月15日(水)15時00分～ |
| 開催場所 | 高松市役所13階大会議室 |
| 議 題 | (1)平成27年度高松市伝統的ものづくり振興事業について ①報告事項 (ア)夏休み親子体験教室 (イ)ミラノ万博トップセールス事業 (ウ)伝統的ものづくり事業者ヒアリング状況 ②審議事項 (ア)伝統的ものづくり人材育成県外派遣者について (2)その他 |
| 公開の区分 | <input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 上記理由 | 高松市情報公開条例第7条第1号及び第4号 |
| 出席委員 | 4人 池田委員、香川委員、本多委員、泉川委員 |
| 傍聴者 | 0人 (定員 5人) |
| 担当課および連絡先 | 産業振興課創造産業係 839-2411 |

審議経過および審議結果

(事務局)
開会のことば

～事務局より議題説明～

(1)平成27年度高松市伝統的ものづくり振興事業について
 ①報告事項
 (ア)夏休み親子体験教室
 (イ)ミラノ万博トップセールス事業
 (ウ)伝統的ものづくり事業者ヒアリング状況

～事務局より議題(1)平成27年度高松市伝統的ものづくり振興事業について資料をもとに報告～

(委員)
夏休み親子体験教室についてだが、この伝統的ものづくり体験は観光コンテンツにもなりうると思うので以降検討されたい。県外の人々が伝統的ものづくりを体験したいというニーズがあると強く感じている
ミラノ万博でのトップセールス事業とあるが、具体的には何を一番に売り込もうとしているのか。

(事務局)

今回のミラノ万博では高松市としては、盆栽をメインにしている。

(委員)

ヒアリング事業について、伝統的ものづくりに携わる職人への取材内容を市のホームページに掲載とのことだが、写真だけでなく動画の掲載もあったほうが効果的に感じる。

(委員)

ヒアリング事業における市のホームページへの掲載の目的は何か。今回は夏休み中の子供を対象とした体験教室であるが、今後ものづくり体験ができる対象を県外の人や、大人にも広げたほうがよいのではないか。

ミラノ万博でのトップセールス事業についてだが、具体的には盆栽を海外で販売するために現在どのような取組みをしているのか。

(事務局)

ヒアリング事業、市のホームページへの掲載については、現在伝統工芸士の連絡先などをネットで調べようとしても出てこないという状況であるため、それを可能にできるような方法の一環として検討中である。

親子体験教室については、大人・観光客を対象とする伝統的ものづくり体験については、来年以降実施できるように検討していきたい。

盆栽の海外販売については、輸出に際しての様々な規制や手続きがあるため、製造業者にその内容を周知するなど情報共有を行っている。海外販路拡大へ向けてJETRO香川や香川県と一緒にバイヤー等を招聘し商談会を定期的に行っている。

(委員)

民間が行っている伝統工芸へのクラウドファンディングがあるが、市や県といった行政も新しい方法を探りつつ、伝統工芸を守り、奨励していくという姿勢をアピールすべきだと思う。

ミラノ万博では、実際の商談につながるような、バイヤー等関係者との関係を築いていただきたい。

～事務局より議題（１）の②審議事項 伝統的ものづくり人材育成県外派遣者について を説明～

高松市情報公開条例第7条第1号及び第4号に該当するため、議題（１）の②審議事項 伝統的ものづくり人材育成県外派遣者については非公開とする。

伝統的ものづくり人材育成県外派遣事業について、事業内容等についての意見は以下の意見があった。

(委員)

昨年派遣事業に参加した人と意見交換等ができる場があれば、さらに有意義なものになると思う。

(事務局)

ぜひそのような機会を作り、この審議会でも報告したい。

(委員)

派遣される人達が所属する団体でも、成果等を含めてしっかり情報共有すべきだと思う。

(委員)

産業振興課から、担当職員は同行しないのか。

(事務局)

参加者の自主性を尊重し、派遣者に意欲的に行動してもらうため今年も職員は同行しない予定である。

(委員)

せめて交流会だけでも行政側から職員が参加し、職人同志のネットワークを作る手助けをしたほうがよいのでは。特に販売については学ぶべきところが多いので、そのつながりを作る工夫が必要である。

(事務局)

販売力の強化としては、今年度から販売分野からの派遣者も参加することを一つの策としている。

(委員)

金沢の伝統工芸産業は販売力にも長けているため、学ぶべき手法が多くあると思う。伝統工芸の新たな商品への応用のヒントもぜひ得てきていただきたい。